

外国人観光客から、“日本の若者のイメージが大きく変わった” “日本のリアリティを体験できた”との評価が寄せられるプログラム、 “SHODO Experience”第2弾開始。

—小さな国際交流の成功・挫折体験を通じてインバウンドに資する人材育成を目指す—

東洋学園大学では、現代経営学部の本庄加代子専任講師が担当する「プロジェクトマネジメント」の授業において、旅館澤の屋に滞在する外国人に対して学生が英語で書道を教えるプログラム“SHODO Experience”（日本語名「冷や汗英語体験プログラム」）を2016年5月から7月にかけて実施。

本企画は身近なグローバル化の中で、学生たちが小さな国際交流の成功体験を重ねることで東京オリンピック・パラリンピックに向けたインバウンドに豊かに貢献する人材を輩出することを目的としております。

第1弾となった5月の活動では、フランスやオランダなど世界各国からの外国人観光客に参加いただき、参加者の満足度は100%を達成。更にプログラム参加を通じて日本のイメージが良くなったなど、高い評価を頂きました。第2弾は7月5日(火)、12日(火)に実施予定です。

■第1弾の様相（2016年5月実施）

“SHODO Experience”は、旅館澤の屋様の全面的なご協力のもと、新設科目「プロジェクトマネジメント」の一貫として実施。5月10日(火)、17日(火)、24日(火)に行われた第1弾では、フランスやアメリカ、オランダ、シンガポールなどさまざまな国籍の外国人観光客に参加していただきました（※添付参考1）。学生たちは書道指導のほか、歌舞伎や折り紙など日本文化を紹介するなど、ジェスチャーや片言の英語を駆使して参加者とコミュニケーションを図りました。

■第1弾のプログラム成果—外国人・学生ともに満足度が高く、相互に新しい発見がある。

学生たちは、日本人として当たり前には持ち合わせているスキル＝“書道”を通じて、外国人に対し気負いなく対峙する感覚を体得しました。終了後には「楽しかった」「自信を得た」という声とともに、「英語学習に対するモチベーションがアップした」「書道の力を知った」など、といった感想が多く聞かれました。（※添付参考3）また、外国人参加者の終了後のアンケートでは全参加者から「Very Satisfied（大変満足）」という高い評価をいただきました（※添付参考2）。

■第2弾のプログラムの実施詳細

2016年7月に第2弾の活動を予定しています。

名称：“SHODO Experience”（日本語名「冷や汗英語体験プログラム」）

日程：第2弾：2016年7月5日(火)、12日(火)

時間：19時30分～22時00分 場所：旅館 澤の屋（所在：東京都台東区谷中2-3-11 代表：澤功氏）



* 本件に関するお問い合わせ先 * 東洋学園大学 広報室（担当：大内・大橋）

電話 03-3811-1783 FAX 03-3811-5176 e-mail:koho@of.tyg.jp http://www.tyg.jp

■添付参考一ファクトデータ

◎参考 1 外国人観光客の出身地内訳



◎参考 2 参加した外国人の満足度 100% (N=21)



◎参考 2-2 日本の見方がポジティブに変わった外国人 100% (N=21)



<参加した外国人観光客のコメント(一部)>

- ・ I enjoyed the enthusiasm of the students and their eagerness to interact with us. I appreciate the opportunity.
学生さんから熱心に教えようという熱意や意欲的に話をしようとする気持ちが伝わって楽しめました。
- ・ It's so original. You all are very kind. And it gives us a different view of young people in Japan.
とてもオリジナルなプログラムです。学生たちはとても親切で、日本の若者の新たな一面を知ることができました。
- ・ That's real and fantastic! これこそリアルで素晴らしい体験。
- ・ Do not miss such kind of training it is real Japanese atmosphere.
多少の英語の単語がわからないからって恥ずかしく思う必要はありませんよ。これが日本の本当の雰囲気。
- ・ It is important for me to meet Japan culture. Students teach very well.
日本の文化との大切な出会いであり、学生たちは、とても上手に教えてくれた。
- ・ It was great! No change. すばらしかった。このまま続けて。
- ・ They are great teachers! 学生たちはとても良い(書道の)先生でした。
- ・ I liked that you can practice and that we can have small talk with the students. I would do it again.
漢字を練習し、学生さんと世間話できるのが、とてもよかった。またやりたいです。

◎参考3 学生の感想—喜びと自己成長感。

「本番ではみんな最初は顔もこわばっていたしお客様に上手く伝わらず沢山困らせてしまったこともあったと思います。しかし、やりなれてきた後半では、メンバーが協力的に、臨機応変に動いていたと思います。短時間でも成長できているなと思いました。」(現代経営学部3年・和田朱音)

「学校で勉強して蓄えた力を実践できたことがとても嬉しかった。実際に今、自分ほどの程度英語を話せるのか、伝えることができるのか、聞き取ることができるのか、を初めて認識できた」(現代経営学部3年・森永悠太)

「英語は高校の時から大変苦手だったが、お客様に『楽しかった、ありがとう』と言って頂けて、言葉に表せないくらい嬉しかった。今回の結果に満足せず、良い点を伸ばし、悪かった点は改善していく事で『最高のおもてなし』を実現させていきたい」（現代経営学部3年・阿部仁美）

「大成功だったと思う。ただ、大成功といっても私達の目標である、最高のおもてなしと日本文化に触れてもらうという点では大成功であったというだけで、全体的に見たらまだまだできることが沢山あったことに気がついた。プロジェクトマネジメントを意識しながら、情報共有をしっかりと、各チームで切磋琢磨していきたい」（現代経営学部3年・市川桃子）

「プロジェクトマネジメントをやってみて、まさかこんなに楽しいとは思っていませんでした。外国人の方々の笑顔をたくさん見られました。参加した外国人の方から “帰ったら書道を練習してみたいと思うよ！”と言われたり、カナダのお客様からはギフトをもらえたりと、反響があつて嬉しかったです！今回の経験を活かし、次回は、もっと色々な人に自慢してもらえるように頑張りたいです。何より、自分は本当によく頑張った！と胸を張って言えるように、みんなと力を合わせて頑張っていきたいです。（現代経営学部3年・村上哲哉）

<第一弾の当日の様子(一部)>



* 本件に関するお問い合わせ先 * 東洋学園大学 広報室 (担当: 大内・大橋)
 電話 03-3811-1783 FAX 03-3811-5176 e-mail:koho@of.tyg.jp http://www.tyg.jp